

4 温室効果ガスの排出の状況

計画期間 3 年度目（令和 6 年度）の温室効果ガス排出の状況

①エネルギー起源二酸化炭素の排出量		4,251	t-CO <sub>2</sub>
（温室①を酸効除炭ガス換算）	②非エネルギー起源二酸化炭素（③を除く。）		t-CO <sub>2</sub>
	③廃棄物の原燃料使用に伴う非エネルギー起源二酸化炭素		t-CO <sub>2</sub>
	④メタン		t-CO <sub>2</sub>
	⑤一酸化二窒素		t-CO <sub>2</sub>
	⑥ハイドロフルオロカーボン類		t-CO <sub>2</sub>
	⑦パーフルオロカーボン類		t-CO <sub>2</sub>
	⑧六ふっ化硫黄		t-CO <sub>2</sub>
	⑨三ふっ化窒素		t-CO <sub>2</sub>
	⑩エネルギー起源二酸化炭素（発電所等配分前）		t-CO <sub>2</sub>
	温室効果ガス総排出量（①～⑩合計）		4,251

5 温室効果ガス排出量の抑制に係る目標の達成状況

（1）温室効果ガス排出量の抑制目標の達成状況

温室効果ガスの抑制の目標設定方法	原単位排出量
------------------	--------

項目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績					
	令和 3 年度	t-CO <sub>2</sub>	令和 6 年度	t-CO <sub>2</sub>	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	t-CO <sub>2</sub>	t-CO <sub>2</sub>	t-CO <sub>2</sub>
温室効果ガス総排出量		t-CO <sub>2</sub>		t-CO <sub>2</sub>		t-CO <sub>2</sub>		t-CO <sub>2</sub>		t-CO <sub>2</sub>
削減率（対基準年度）	.....			%		%		%		%
温室効果ガスみなし総排出量	.....		.....			t-CO <sub>2</sub>		t-CO <sub>2</sub>		t-CO <sub>2</sub>
削減率（対基準年度）	.....		.....			%		%		%

項目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績					
	令和 3 年度	t-CO <sub>2</sub> / m <sup>2</sup>	令和 6 年度	t-CO <sub>2</sub> / m <sup>2</sup>	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	t-CO <sub>2</sub> / m <sup>2</sup>	t-CO <sub>2</sub> / m <sup>2</sup>	t-CO <sub>2</sub> / m <sup>2</sup>
原単位あたりの排出量	0.03753	t-CO <sub>2</sub> / m <sup>2</sup>	0.02402	t-CO <sub>2</sub> / m <sup>2</sup>	0.02618	t-CO <sub>2</sub> / m <sup>2</sup>	0.02682	t-CO <sub>2</sub> / m <sup>2</sup>	0.02871	t-CO <sub>2</sub> / m <sup>2</sup>
削減率（対基準年度）	.....		36.0	%	30.2	%	28.5	%	23.5	%
原単位あたりのみなし排出量	.....		.....			t-CO <sub>2</sub> / m <sup>2</sup>		t-CO <sub>2</sub> / m <sup>2</sup>		t-CO <sub>2</sub> / m <sup>2</sup>
削減率（対基準年度）	.....		.....			%		%		%

（2）進捗状況に対する自己評価（目標の達成／非達成の理由）

コロナ5類化に伴う商業施設来店者の増加及び外気温上昇による熱負荷増加により冷水使用量が増加したもの。

備考1 温室効果ガスの排出の状況のうち、エネルギー起源二酸化炭素を除く温室効果ガスの排出量については、温室効果ガスの種類ごとに3,000トン以上の場合に限り計上してください。

備考2 温室効果ガス総排出量とは、エネルギー起源二酸化炭素の排出量と、種類ごとに3,000トン以上の温室効果ガスの排出量の合算をいいます。

備考3 原単位あたりの排出量とは、事業活動の特性を的確に示すものとして事業者自らが選択する工場等の床面積、製品の出荷量その他の指標になる単位量あたりの温室効果ガス排出量をいいます。

備考4 温室効果ガスみなし総排出量とは、温室効果ガス総排出量に対し、クレジット等の環境価値に相当するもの及び再生可能エネルギー等の利用による温室効果ガスの削減量等を調整したものをいいます。

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置の実施状況

(1) 自らの事業活動に伴い排出される温室効果ガスの抑制に係る措置の実施状況

取組の区分	具体的な取組の内容	取組の目標	取組の実施状況
エネルギーの管理	①利用用途別（熱源搬送、空調、照明、駐車場、テナント使用分等）に使用エネルギーを把握・分析し、エネルギー利用状況の見える化を図る。 ②上記集計データをもとに、毎月省エネルギー推進分科会を開催し、各種対策の立案。及びその効果検証を行う。	取り組み実施中。	
空調運転	①夏期の温水運転を停止し空調エネルギーのミキシングロス減らす。 ②空調機の急激なエネルギー利用を抑える事によりエネルギーロス減らす ・インバーターの周波数上限を抑える事により使用電力減らす。	取り組み実施中。	
空調運転	・ナイトモードの活用 ナイトモード運転可となる外気温等のパラメータ設定を適切に設定する。	最適パラメータとなるよう検証を行う。	
照明減灯	盛夏期、厳冬期におけるエネルギー使用量の低減を目的として、照明を間引きし、減灯運用を行う。	取り組み実施中。	
温水器の運転	冬季間のトイレの手洗いを温水系統を減らし電気使用量を減らす。	2022年度冬より試験的に実施する。	

(2) 再生可能エネルギー及び未利用エネルギーの利用の状況

ア 計画期間 3 年度目 (令和 6 年度) における利用の状況

導入年度	設備等の種類	概要 (規模、性能、発生エネルギー量等)
2021年度		全電力を再生可能エネルギーへ切り替え済み

イ 上記のうち、他のものに供給した電力及び熱

区分	再生可能エネルギーの種類	温室効果ガス換算量 (みなしの削減量)
電力		t-CO <sub>2</sub>
熱		t-CO <sub>2</sub>

(3) 環境価値 (クレジット等) の活用の状況

計画期間 3 年度目 (令和 6 年度) におけるクレジット等の利用

クレジット等の種類	創出地	温室効果ガス換算量 (みなしの削減量)
		t-CO <sub>2</sub>
		t-CO <sub>2</sub>
		t-CO <sub>2</sub>
		t-CO <sub>2</sub>

(4) みなしの排出量の算定に利用した温室効果ガス換算量 (みなしの削減量) の合計

t-CO <sub>2</sub>
-------------------

(5) その他の地球温暖化対策に係る措置の実施状況

水資源の有効利用：飲食店舗の厨房排水を中水設備により、雑用水として利用。中水設備の効率運用を行う。
---

(6) 「環境保全の日」等に特に推進すべき取組の実施状況

--